

情報化施工(マシンガイダンス)説明を行いました

平成27年4月23日、四国技術事務所構内で若手技術者にバックホウのマシンガイダンスを紹介しました。



遠隔操縦式バックホウ



情報化施工の説明

離れた場所からマシンガイダンスを活用したバックホウ操作を実演。搭載カメラで確認が難しい数cmの誤差もマシンガイダンスでは正確に知ることが出来ます。

受講者は、設計データの入力方法や、無線の到達距離など多くの質問があり、熱心に受講していました。

マシンガイダンスモニタ
(無線によりリアルタイム表示)



マシンガイダンスモニタ画面(2D)

搭載カメラ映像(3画面切替可)



モニタには、完成断面図とバックホウがアニメーションで表示されます。

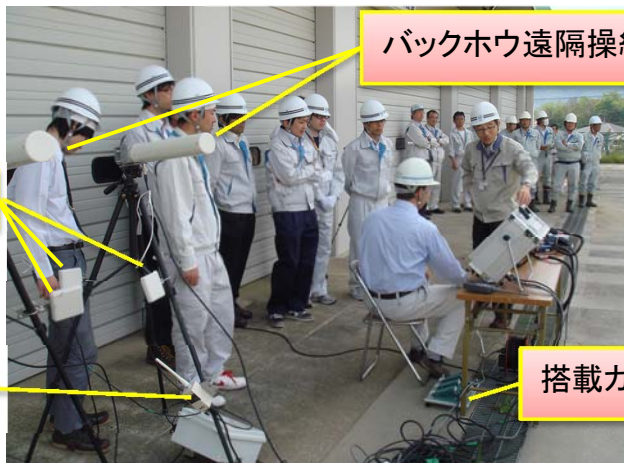
掘削面までの距離は、数値(画面の下部に表示)とアニメーションによりリアルタイムで確認できます。

バケットが掘削面まで到達すると、ブザーと画面右側のLEDライトでオペレータに知らせてくれます。

遠隔操縦装置(バックホウ用)

バックホウ遠隔操縦用アンテナ2基

マシンガイダンス用アンテナ3基



搭載カメラ用アンテナ1基

搭載カメラ切り替えスイッチ

「マシンガイダンス」とは、機械を操作するオペレータに現在掘削している位置と目標をモニタに表示することで操作をサポートする技術のことです。